

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月15日更新

事務事業名	小中学校ICT機器整備事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 栗木 清智
	施策	9 義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名 村上 優太
	施策の柱	31 学力の向上	所属班	総務施設班	(内線) 5315
予算科目	会計 一般	款 10	項 2	目 2	事業連番 11801 他
根拠法令					
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 4 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	文部科学省の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画2018年~2022年」及び「GIGAスクール構想の実現」に基づき、学習用端末、校務用端末、電子黒板等の整備、校内ネットワーク(校務用ネットワーク、タブレット用ネットワーク、図書用ネットワーク)の構築を行っている。また、通信機器を整備し、校内だけでなく、さまざまな場面で端末の利活用を促進している。 ・平成30年 電子黒板導入(リース) ・令和元年 パソコン教室デスクトップパソコン更新(リース) ・令和2年 普通教室及び特別教室無線LAN構築、学習用タブレット端末7,630台整備(購入) ・令和3年 職員室無線LAN構築、校務用ノートパソコン496台更新(リース)、学習用タブレット端末300台整備(購入) ・令和4年 タブレット用回線増強(8校)、L3SW/ルーター更新(リース)、WEBカメラ導入 ※令和4年度より、児童生徒用パソコン整備事業、教職員用パソコン整備事業、GIGAスクール推進事業を統合し、新規にICT機器整備事業を新設した。
【業務の流れ】	【校務用PC、PC教室】リース満了後の機器更新における機種選定や業者の手配、リース契約締結、支払い事務。 【電子黒板】リース満了後の機器更新における機種選定や業者の手配、リース契約締結、支払い事務。 【タブレット】1人1台端末の機種設定、業者の手配、納品検査、支払い事務。 その他、児童生徒やクラス数増に伴い、不足する機器について、追加整備を行っている。
【主な予算費目】	需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	ICT機器の破損・故障の修理対応について、動産保険への加入を検討中。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
校務用PC、PC教室、電子黒板、タブレット等の維持管理及び各種機器リース料、通信費の支払いを行った。大規模校について、タブレット用の回線を増設し、学習用ネットワークの安定を図った。児童生徒増に伴い、不足する機器の整備を行った。	令和5年12月に電子黒板のリース満了となるため、更新を行う。令和6年度にリース満了となるPC教室について、今後の方針を検討する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 小学校数	校
イ: 中学校数	校
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
児童、生徒、教職員	ア: 児童生徒数 人
	イ: 教職員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
ICT機器の充実を図る。	ア: 児童生徒1人あたりの台数 台
	イ: 教職員1人あたりの台数 台
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠	
適切な教育環境になる。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	実績(決算)		4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 校			8	8	8	8	8	8
	イ 校			4	4	4	4	4	4
② 対象指標	ア 人			7,250	7,317	7,421	7,436	7,451	7,466
	イ 人			420	420	430	440	450	460
③ 成果指標	ア 台			1	1	1	1	1	1
	イ 台			1	1	1	1	1	1
投資 入費 量	財源内訳	千円			3,548				
	国庫支出金	千円			18,000				
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円		2,341		1,256			
	繰入金	千円							
一般財源	千円		148,171	248,019	164,424	166,047	176,046	1,006,908	
(A) 事業費計	千円		150,512	269,567	165,680	166,047	176,046	1,006,908	
(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特別	千円		0	0	0	0	0	0	
正規職員従事人数	人		2	3	2	2	2	2	
延べ業務時間	時間		1,000	1,250	1,000	1,000	1,000	1,000	
(B) 人件費計	千円		3,984	4,757	3,984	3,984	3,984	3,984	
トータルコスト(A)+(B)	千円		154,496	274,324	169,664	170,031	180,030	1,010,892	

事務事業名	小中学校ICT機器整備事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 児童生徒1人あたり1台、教職員一人当たり1台の端末は整備しているため、目標達成している。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 次年度も継続してICT機器を整備するため、見込はついている。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ICT機器整備に係る類似事業はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 機器の設定等、行政職員ができることはしており、これ以上の事業費の削減はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の人数で対応しており、事業費の削減はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 機器の修繕など、故意でない限り公費で行っており、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			△																		
	低下			△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						